

みんなで創るまち、 みんなで育むまち。





小春ちゃんのママに、
新しいまちに引っ越したおじさんから
電話がかかってきました。

「新しいまちは、みんな生き生きとしてて、
とってもいいまちなんだ。
緑がたくさんあるし、広い公園もあって、
まちのみんなで省エネを考えているんだよね。」

「そうなの?」とママ。
「大きな病院もあるし、お店だって揃ってる。
みんなが見守れる安心なまちだから、
子育てなんかにもいいと思うよ。
そうだ、今度の日曜日、
小春ちゃんをうちに遊びにこさせるといいよ」

「そうね、ひとりで行かせるのはちょっと心配だけど……」
そばでそっと聞いていた小春ちゃん、
「わたし、行きたい!」と思わずママにお願いしました。



※記載のイラスト及び文章・内容は、タウンマネジメント組織「城野ひとまちネット」が
思いを描いたまちのイメージであり、実際のものとは異なります。

「じゃあ、気をつけて行くのよ」
こうして小春ちゃんは、城野のおじさんの
新しい家へ行くことになりました。



列車にのって、
スイスイ城野駅まで。
「わー、もうついちゃった」



キヨロキヨロ。
「新しいまちは、どっちかなあ?」
「そこをまっすぐいくと、すぐだよ」
と城野駅の駅員さんがやさしく
おしえてくれました。



「へー、駅からまちまで
空中にみちがある。
屋根があるから
雨の日もだいじょうぶだね」
さあ、ママに描いてもらった
地図をたよりに、
小春ちゃんはいよいよまちへ。



Ⓐ まちの入口エリア Ⓣ 集会所・公園エリア Ⓛ 住宅地エリア

A

まちの入口エリア



駅からのデッキを降りたら、
すぐまちの入口なんだ。
みんなが、
いろんなことをしてて
なんだか楽しそう。



あれあれ?
みちにひとがいっぱいいる。
「フリーマーケットっていうのよ。
まちの人たちが、今日だけの
お店をだしてての」って
おねえさんが声を
かけてくれた。

ふふふ、
さっきのネコが
ついてきちゃった。
カワイイ!



1 見守りにも繋がる、屋外の心地よい居場所。
このまちでは、オープンデッキや憩いのスペースなど、屋外に心地よい居場所を設け、まちなかへ目を配ってお互いに声を掛け合い信頼関係を築くなど、見守りにも繋げます。また、防犯カメラも設置して防犯に強いまちを目指します。



2 まちの人たちが、余暇や趣味に使えるみち。
遊歩道は、歩行者と自転車専用になっています。この周りでは、フリーマーケットなど様々なイベントや、住民が幅広く多彩に利用できるよう、まちの人人が中心となって活動しています。

ここ、おうちか
思ったらお店なんだ。
赤ちゃんをだっこした
おかあさんに
ヘアゴムもらっちゃった。
ありがとう。



うたごえが
聞こえてきた。
看護師さんのコーラスだわ。
小鳥もネコもいっしょに
うたってるね。
このうた、わたしも
うたえるよ。



4 地域にひらかれた店舗型住宅。

遊歩道沿いでは、自宅でお店や文化教室などを営むことを望む方々を歓迎しています。たとえば、趣味で集めた雑貨の販売や語学力を活かした英会話教室など、入居者の楽しみが、まちにひらかれていくことを期待するゾーンです。



3 エリアの施設との繋がり。

このまちでは、住宅だけでなくまちの入口に展開する様々な施設も、まちづくりの一員として関わっています。たとえば、病院と連携して施設内の緑地やホールでイベントを行うなど、それぞれの施設がそれぞれの立場で地域貢献に参加します。

B

**集会所・公園
エリア**

公園で
おにごっこをしている男の子がいる
「こんにちはーいい公園だね」
「うん。この芝生、
ぼくも手伝ってはったんだよ」
「へー、すごい」
話してたら、すぐに
仲よくなっちゃった。



**集会所や
公園がある
みんなが
一緒にあって、
まちをつくるんだね。**



うわー、きれいな
お花がいっぱい。
みんなで育てるのかな?
チョウチョもうれしそうに
飛んでる。

5 みんなでつくる公園。

公共施設の公園も、住民参加型で育てていきます。みんなで芝生を張ったり、芝刈り大会を行ったりと、まちでの思い出を積み重ねることで、将来、子どもたちがこのまちで育ったのだと実感できるような体験を醸成します。

**5****6**

6 まちに花を増やすための、拠点をつくる。

このまちには数多くの花壇があり、それらをまちの人々が大切に管理していきます。たとえばコンテナなどで簡単なガーデンファクトリーを作ることができれば、そこは花と緑のコンシェルジュとして住民へのアドバイスの場ともなります。

**8**

なにに、畑?
「そうだよ、畑を作ってるんだ。
ここでとれたニンジン、
おいしいよ」と男の子。
わたしもニンジン大好き!

**7**

7 まちの人による、住民活動の拠点づくり。

サークル活動なども、まちの人々が主体となって維持・管理。子どもから高齢者までいつも人が集い、活動を行っていて、まちの見守りにも繋がります。また、日中のクールシェアにも役立ち、集会所にはプロ用キッチンや日曜大工道具も備え、住民が趣味を楽しんだり健康セミナーを開催するなど、コミュニティの場ともなります。

8 楽しみながら野菜などを育てる。

このまちでは、公園の一角にみんなが使えるコミュニティガーデンが設けられています。そこは地域の食材を育てる庭として、楽しむことができる施設です。また、ここで収穫した野菜を集会所で調理することもでき、食育などにも活用可能です。



**このまちは、
みんなが力を合わせて、
みんなで
たのしんでるんだね**

「ここは?」
「集会所なんだ」
みんな何か作ってる。
あれは犬小屋かな?
わー、あっちはケーキだ。
すごい!



C

住宅地
エリア

9 緑から始まる、良好な住環境とコミュニティ。

このまちでは、住宅地区の道沿いに数多くの植栽が配されています。まちなみガイドラインなどにより、美しい街並みや統一感のある景観を生み出し、花や緑の手入れを団地管理組合が行うことで、まちの人たちのコミュニケーションの機会となることが期待されます。



10 まち全体でエネルギーの有効活用。

このまちの住宅には、積極的にエネルギーを最適化するシステムや設備の導入を図ります。リビングのモニター機器で太陽光発電量・電気使用量が確認できたり、節電のアドバイスを受けられたりと、まち全体をネットワークで管理し、電力使用量の効率化と節電・CO2削減を目指します。



11 安心・安全な住宅地内道路、クルドサック。

住宅地内には、「クルドサック道路」と呼ばれる袋小路を設けることで自動車の通り抜けがないなど、歩行者が安全・快適に通行できる環境を実現します。



12 丸い広場のような道路、コモン。

コモンと呼ばれる、住宅が面する広場のような緑化された道路が中心となって、快適でまとまりのある住環境を生み出します。コモンは、住む人や歩行者に憩いの空間を提供し、安心できる近隣のコミュニティの場としても機能します。

みんなで創る、育む
暮らしを楽しむまちが誕生します。



みんなで創るまち、
みんなで育むまち。
住む人も参加して、
自分たちのまちに。

新しいまちでは、そこに住む人たちも積極的にまちづくりに参加していく仕組みを考えています。子どもから高齢者までが、日々の暮らしを楽しみ、豊かに過ごせる環境や施設やイベントまで、住む人の視点で提案し、形づくり、運用していく。そんな、まちを自分たちの好みに育てていくという発想です。安全・安心、賑わい・快適性、一体感のあるコミュニティ、そして自ら維持管理し次世代に受け継いでいくまちづくり。さらに、様々な低炭素技術やシステムをまち全体に取り入れ、ゼロ・カーボンを目指す。タウンマネジメント組織「城野ひとまちネット」が中心となり、より良いまちづくりを展開します。



①北九州総合病院 ②(株)オーエス・大英産業(株) ③西日本鉄道(株)・積水ハウス(株)・セキスイハイム九州(株)・大和ハウス工業(株)・三井ホーム(株)・(株)安成工務店・(株)なかやしき・(株)パナホーム北九州・ミサワホーム九州(株)・(株)一条工務店・サンヨーホームズ(株)・スウェーデンハウス(株)・辰巳住宅(株)・(株)谷川建設・トヨタホームつくし(株)・住友林業(株)・(株)不動産プラザ・(株)ヤマダ・エスパイエルホーム・旭化成ホームズ(株) ④タケシタ調剤薬局(株) ⑤大賀薬局(株) (順不同)

※掲載のCGベースは平成27年3月に撮影したものに完成予想図を合成し、CG加工したもので実際とは異なります。CGは、設計図、資料(平成27年3月時点)を基に作成したものであり、形状・色等は実際のものは異なります。また、設計および関係機関等の協議により変更される場合があります。

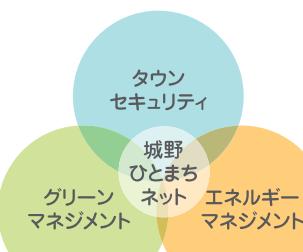
まちを育むタウンマネジメントによる参加型のまちづくり。

「タウンマネジメント」とは、まちにおける良好な環境やその価値を維持・向上させるため、住民や事業主が主体的に取り組む活動です。

城野駅北地区では、タウンマネジメントの主体となる

「城野ひとまちネット」を中心に、まちを育むしくみとして

「タウンセキュリティ」「グリーンマネジメント」「エネルギー管理」の3つに取り組んでいくことで、参加型のまちづくりを進めていきます。

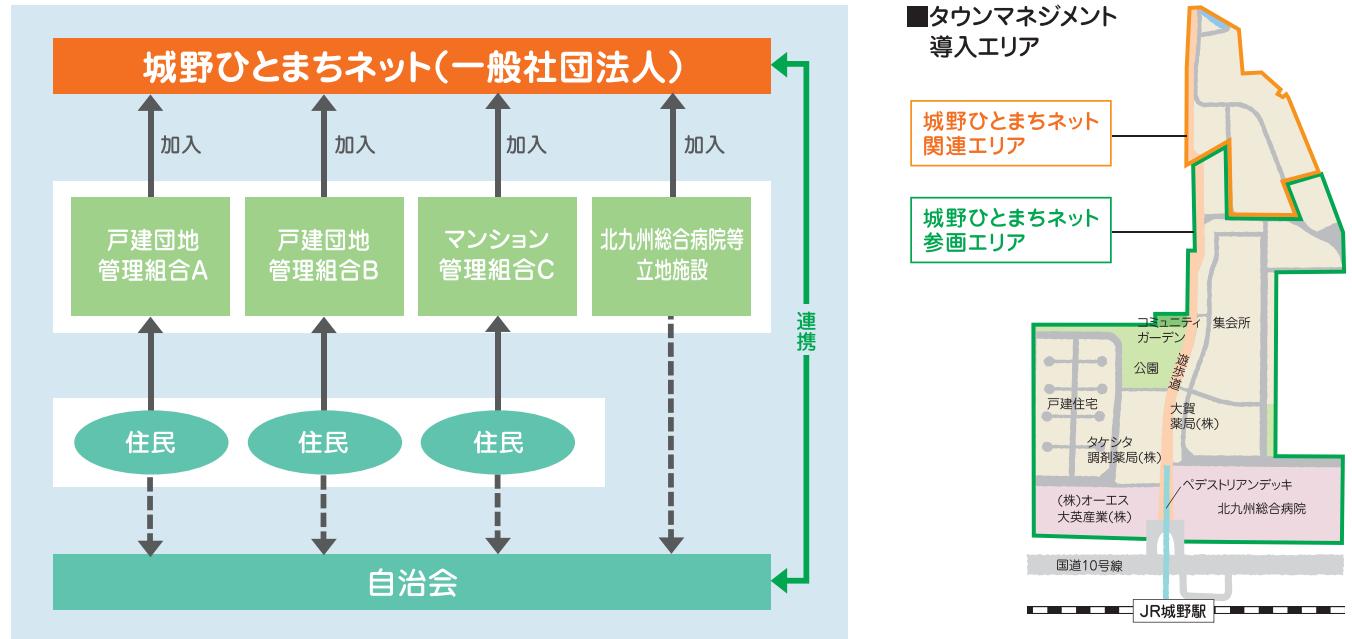


タウンマネジメントを進める組織、「城野ひとまちネット」

「城野ひとまちネット」参画エリアでは、戸建住宅・集合住宅ともに、区分所有法に基づく管理組合等を設立し、地区内施設と共に一般社団法人「城野ひとまちネット」の社員として加入します。

「城野ひとまちネット」は、各団地管理組合・立地施設等を統括する組織とします。このまちで暮らす、人と人、まちと人をつなぐプラットホームとして活動していきます。

※住民の方々は、管理組合を介して「城野ひとまちネット」に会費をお支払いいただきます。



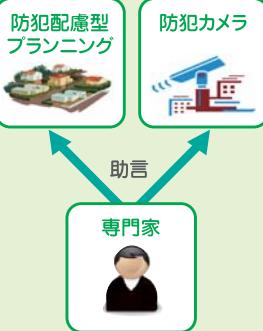
まちを育む3つのしくみ

1. 安心・安全な、見守りのまちを育む

[タウンセキュリティ]

◎専門家のアドバイスのもとで犯罪を低減するまちのデザインに取り組み、さらに街などに防犯カメラを設置し、建物の防犯性能も高めることで、犯罪に強いまちをつくります。

◎まち中に様々な楽しい居場所をつくることで、誰もが集い、そこでお互いの顔見知りになるようなまちをつくります。その居場所をまちに開いていくことで、通学中や放課後の子どもたちを皆で自然に見守り、お互いに声を掛け合うことができるようなまちを育みます。



2. 楽しく美しい、花と緑のまちを育む

[グリーンマネジメント]

◎公園や遊歩道には大きな木や並木を植え、さらに団地管理組合が景観協定などにもとづいて各敷地内に効果的な植栽を誘導することで、歩いて楽しくなるような緑の連続する美しいまちをつくります。

◎公園での芝生張りや、コミュニティガーデンでの野菜育てと収穫祭バーベキューなどを通じて、緑と花を育てる仲間を集めていきます。この仲間を中心に、遊歩道沿いや施設前などに設けられた花壇に、好きな花を季節ごとに植えていくことで、彩あふれたまちに育みます。

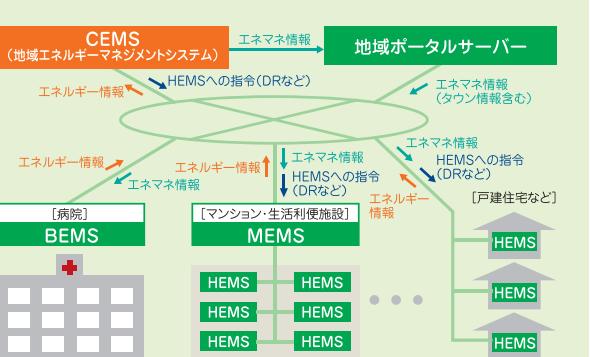


3. エネルギーを賢く使う、持続可能なまちを育む

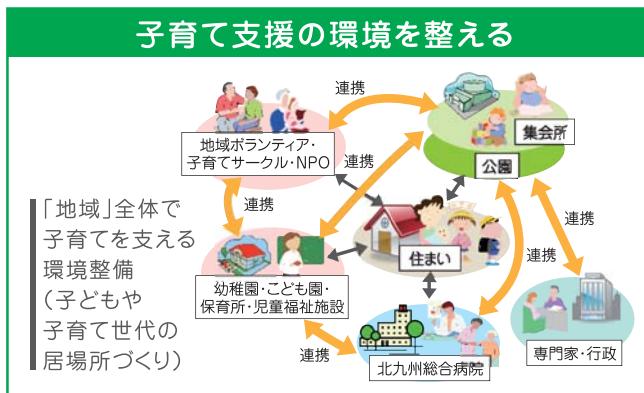
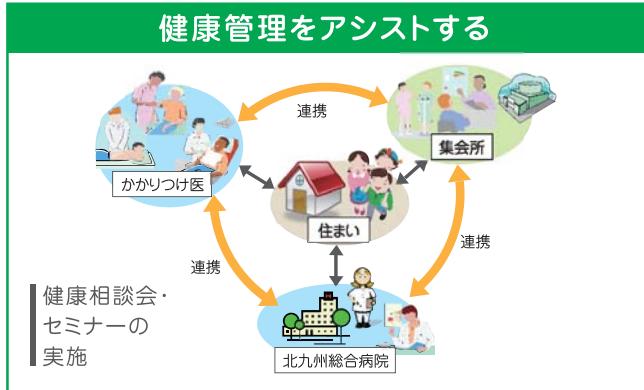
[エネルギー管理]

◎各施設・店舗や家庭で使うエネルギーの使用情報や発電情報を地域でまとめて収集・分析することで、賢くエネルギーを使うための省エネ情報を提供していきます。

◎地域内外の施設・店舗と各家庭をつなぐ情報通信網をつかって、健康管理、予育て支援、高齢者支援等のサポートの仕組みを作ることで、いつまでも安心して暮らし続けられるまちを育みます。



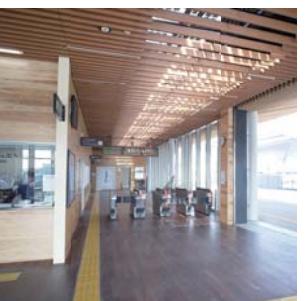
さまざまな活動を行い、魅力あるまちを育む。



新しくなったJR城野駅。新しいまちと歩行者用デッキで直結します。



ペデストリアンデッキ



JR城野駅構内



JR城野駅南北自由通路

新しくなったJR城野駅からまちの入口までは、歩行者専用の屋根付き通路・ペデストリアンデッキでダイレクトに結ばれます。



JR城野駅西口(城野駅北地区側)



きれいな街並みだったり、緑豊かな公園だったり、
気持ちよい通りだったり。
まちの中でいろんな人とふれあって笑顔になれる。
エコやセキュリティもしっかり考えられていて、まちの良さを実感できる。
「住む人だけでなく、ここを訪れる人たちも、
みんなで創り、育てていく」という、
そんな新しいまちに出会えた小春ちゃんでした。

みなさんもこのまちづくりに参加してみませんか。
公園に遊びにきたり、ちょっとまちの中を散歩しにくるだけもよいのです。
きっと、このまちが好きになれると思いますよ。



一般社団法人

城野ひとまちネット

TEL.093-941-1170

<http://www.johno-hito-machi.com>

2015.07